

令和5年度 生活科 授業改善推進プラン

大田区立 千鳥 小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・植物の栽培や観察、自然探しや、生き物の飼育をすることで、多くのことに気付くとともに、知識や経験が豊かになった。
- ・生活科の学習を楽しみにしている児童が非常に多い。
- ・観察の視点や活動の注意点を示すことで、どの児童も気付きのポイントをつかむことができた。
- ・多くの児童がクラスや学年での遊び、異学年の児童との交流など、多くの人との関わり合いを通して、相手を思いやる気持ちや、みんなで協力し、グループをまとめたりする力が付いた。
- ・動植物の成長の様子を観察することや、友達との関わりや遊びを通して、じっくりと考え新たな発見や工夫をすることができる児童が多い。
- ・活動を振り返り、体験したことを言葉や絵で表す表現活動を行い、また、互いにその内容を伝え合う活動を楽しみながら行う児童がほとんどである。

(2) 課題

- ・多くの児童がクラスや学年での遊び、異学年の児童との交流など、人との関わり合いを通して、身近な人や社会とかかわる楽しさを実感することができたが、コミュニケーションをとることが難しい児童もいる。
- ・ほとんどの児童は、進んで活動できているが、生活経験が少ない児童は、話したり、聞いたり、書いたり、作ったりすることなどに苦手意識がある。
- ・グループでの活動や全体で交流をする場では、自分の気付きや考えを友達に伝えるだけになってしまった。友達の気付きと比べながら聞くことで、自分の考えを広めたり、深めたりすることには、課題がある。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和5年度結果	令和4年度結果	令和3年度結果
第1学年	大田区学習効果測定の教科外のためなし		
第2学年			

(2) 分析（観点別）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>・植物の栽培活動では、観察の視点を持ちながら観察し、知識が豊かになってきた。今後は、その知識を様々な効果的な表現方法で表せるようにしたい。</p>	<p>・多くの人との関わり合いを通して、相手を思いやったり、自分の考えを伝えたりすることはできるようになってきた。伝え合いを通して、友達と比べながら考えを深められるようにしていきたい。</p>	<p>・多くの児童がどの単元でも意欲的に学習に取り組むことができた。しかし、生活経験には個人差があり、それによって話したり書いたりすることに消極的な児童もいる。</p>

3 授業改善のポイント（観点別）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・栽培活動においては、継続的に観察し、成長に伴う変化に気付けるようにする。 ・自分の成長や、友達とのかかわりの良さに気付くために、カードや表現活動を通して振り返り活動を充分に行い、児童が実感できるようにする。 ・みんなで遊ぶ活動を通して、工夫して遊ぶ楽しさ、面白さ、自然の不思議さに気付けるようにする。 ・自分たちが発見したことや気付いたことを効果的に伝えられるよう、様々な表現方法を示し、工夫できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの生活経験を想起させたり、身の回りにあるものに目を向けさせたりすることで、自分なりの工夫やできることを考えさせるようにする。 ・諸感覚を使って、自然を観察し、季節変化や特徴、良さに気付けるようにする。 ・町探検では、インタビューをしたり、見学をしたりし、仕事をしている人の努力や苦勞、思いなどに気付けるようにする。また、町探検でお世話になった人への感謝の気持ちを伝え、地域へ愛着をもてるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然を用いた遊びや表現活動をし、自然に興味をもち、主体的に活動する意欲を高めさせる。 ・自分や身の回りにいる人と関わる活動を通して、自分や友達のよさに気付かせ、進んで人と関わる態度や、周りの人への感謝の気持ちを養えるようにする。 ・生活経験での個人差をなくすため、一人一人が、植物を育てたり、虫捕りに行ったりして、観察をし、生き物と触れ合う経験を多くもたせる。また、作った野菜を収穫し、収穫した喜びをみんなで分かち合うような活動を取り入れてく。